



藤岡みどりの



フクワレポ

第8号

2011. 11. 20 発行

発行：藤岡みどりを推薦する会 代表 大西多美子・松前町議会議員 藤岡 緑
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1
☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131 ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>



2期目がスタートします

実りの秋となりました。

皆様におかれましては益々ご清栄のことと存じます。お陰様

で皆様のご支援をいただき9月初めに改選後初めての議会を迎えました。この間の皆様のご支援に対し心より感謝申し上げます。

私の二期目のスタートは、同じ校区から2人の新人議員が選出されたので、岡田校区内を3人で走り出すことになりました。お互いの個性を尊重しつつ、自らの目標(笑顔あふれる松前の町づくり)をしっかり見定め切磋琢磨しながら充実した議員活動を展開していく所存です。

これからも住民の皆様と共に歩み、是々非々のスタンスで行政とも向き合い、暮らしやすさを求めて歩む私に、いろんなご意見・アイデア、お声をかけてください。



皆さんからのご意見・感想をお待ちしています。
お手紙・メール、直接お電話でも結構です。
メールアドレス fujioka.midori@gmail.com

今期の目標

★くらし生き生き、住民主体の町政で笑顔あふれる松前町を作るため、この7つの約束を守ります。



1. **教育** 安心して子育てできるまちづくり
2. **環境** エネルギー資源の見直しとエコライフで人にやさしいまちづくり
3. **福祉** 高齢者や障害者にあたたかいバリアフリーのまちづくり
4. **共生** 男女が共に明るく参画できる社会づくり
5. **議会** 地域主権の一役を担い、住民に開かれた議会づくり
6. **活力** 地場産業の育成、連携で働く人が元気になるまちづくり
7. **防災** 地域の防災力を高め、減災できるまちづくり

改選後の所属委員会及び役職

(H.23.9月～)

- ・副議長
- ・文教常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- ・議会広報編集特別委員会(委員長)
- ・決算特別委員会
- ・伊予市、伊予郡養護老人ホーム
組合議会議員

～みどりの一般質問より～



3月

Q コミュニティバスの更なる利便性拡大は

A. 年末年始のエミフル周辺道路の混雑から、昨年までは運休になっていましたが、利用者のご意見やフジとの協議で今年は何とか運航できるように考えていきます。

(*・*) その後、今年の年末運行と3つの停留所の増設が決まり、利用者からの期待も大きく、住民の足として益々重要視される存在になるだろう。



6月

Q 大規模地震の減災、原発に対する危機管理は

A. 本町の地域防災計画は、M8.4の南海地震を想定しています。東日本大震災の検証から想定の変更が予想されるので、国など関係機関の決定に基づき随時見直しをかけていきます。福島原発事故後、放射性物質の大気中への拡散がどの範囲まで広がるのか明確でないため、伊方から直線50キロ圏内の当町も危機管理意識を持って原発対策を計画に反映させます。

(>-<) 国からの明確なデータが出ずに、多くのマスコミからの情報が錯綜して見直しすら思うように進まないのが現状だ。

9月

Q 公共下水道の環境整備について

A. 公共下水道認可区域外(岡田校区のほとんど)では、生活排水による水質汚濁を防止するため合併処理浄化槽の整備を推進しています。既存の汲み取りや単独処理槽から合併処理槽に変えた場合のほうが、新築住宅での敷設より5人槽で6万5千円も多く補助金が交付されます。それだけ既存のものから改修する分により厚く支援しています。また臭いについては臭突の高さの調節、EM菌の注入などの減臭方法などがあります。

(>-<) 臭い問題などはご近所トラブルになる前に、町からの広報でもっとスムーズな解決を。



～自主的研修活動～



—仙台防災士協会主催の講演会及び被災地視察—

(2011・9・18～19)



1日目前半の講演：保田氏（東北大学院工学研究科で津波も専門）

自らの被災経験を踏まえて津波の脅威、今回の被害の拡大原因や今後の防災の在り方について、約1時間のパワーポイントを利用しての説明でわかりやすく講義して頂き、女性防災士という視点でも大事なポイントをいくつか示してもらい今後の地域防災活動に大変役立つものだった。

後半の講演：黒田氏（NPO 法人阪神高齢者障がい者支援ネットワーク理事長）

災害看護の専門家の立場から、災害避難所の円滑な運営のノウハウを長年の経験を通して、かなり具体的に時間の経過と被災者の心理状況も踏まえてお話しいただき、一次から二次避難所への移送の移動基準に至るまでパワーポイントを使って説明してもらった。やはり女性防災士の視点や気配りのある講演だった。



2日目の被災地視察：菊池氏、浅野氏（防災士協会宮城支部の防災士）の引率で～

東日本大震災現地視察研修ということで被災した仙台市内、周辺地域および仮設住宅への取材もさせていただいた。震災から半年以上経過しているのに、想像以上に災害の爪痕が残り、中央のインフラ整備は進んでいても周辺・海岸地域はまだまだ瓦礫の山積み状態で、避難所は無くなっていたがほとんど仮設住宅への移動となっていた。そこに住む人々の声も聞くことができたが、政府や自治体の対応の遅さに苛立ちを隠せないのが実態だった。自分たちにも何かできないか、復興促進に向けて・・・と強く感じた。



★女性防災士仲間と3人で遠路仙台まで行ってきました。先方ではNPO法人のスタッフの方々と今後に繋がる交流ができて、有意義な研修となりました。

★ 総務常任委員会での研修（H23.5/18～20）

東日本大震災後の大幅な防災計画の見直しから鹿兒島県日置市と隣接する川内原子力発電所を訪問。主に海岸、平野部での高潮、浸水被害に加えて津波対策も含めた計画の作成中だった。

また原発に対しては周辺自治体と連携して要望書を提出して住民の不安に対応するよう議会として動いていることを学んだ。川内原発では稼働中の原子炉の安全性について説明を受ける。（計画中の3号機増設は、厳しいようだが。）



★ 厚生常任委員会での研修（H23.6/29～30）

広島市近郊の坂町と熊野町に子育て支援と介護予防事業の研修に行く。県営の子育て支援住宅と保育園及び子育て支援センターを併設することにより、次世代社会を担う子供が健やかに育成される環境の整備と子育てと仕事の両立支援がより効果的に実現できるという事例を学んだ。

また高齢化率26%の熊野町の介護予防の取り組みは、町直営で高齢者も介護予防リーダーとして活躍する事例として興味深いものだった。

みんなのページ



～みどりから皆様へ～

★お祭りも終わり文化祭が各所で開催され、まさに芸術の秋を感じている今日この頃ですが、町議選では猛暑の中大変お騒がせ致しました。

皆様には心温まるご支援を頂き再び議会の場で働かせていただくようになりまして、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今年は、災害の当たり年のようで、東北大震災から始まって台風の被害も例年になく大きく、また日本だけでなく異常気象で多くの方が犠牲になっています。私はこの数年防災に力を入れて取り組んできた経緯もあって、自身も防災士の資格を取り、地域の自主防災組織の活性化のために活動してきました。

★今回の仙台行きも被災地をこの目で確かめ、もしもの時の避難所運営や各人の減災意識の普及のためのノウハウを自分なりに蓄えて帰って来ました。

これからも安心・安全の町づくりのため日々活動していくつもりですが、詳細については随時更新していきますブログを覗いてみてください。

★ネット検索にて『藤岡みどり活動日記』で入れます！♪

～会長より一言～

皆様、藤岡みどり2期目の選挙には大変お世話になりました。

御陰様で、みどりも町議会議員として活動を続ける事ができました。本当にありがとうございます。

松前町議会が議員のものではなく町民の生活を良くするためのものであるよう見守り、声を上げましょう。

彼女の活動が皆様方から離れていかなないように、選んだからには育てていってください。よろしく願いいたします。

大西多美子



ウォークラリーにて



松前町防災訓練



松前町文化祭より

編集後記

松前町議会選挙から2か月が経ちました。新体制の下、藤岡議員も新たな気持ちをもって議会と向き合っているこの頃です。選挙の折は皆様には並々ならないご協力を頂きありがとうございました。

お陰様でまたこのレポートをお届けできることとなりました。皆様に愛読されるレポートを目指して頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。（K.I）